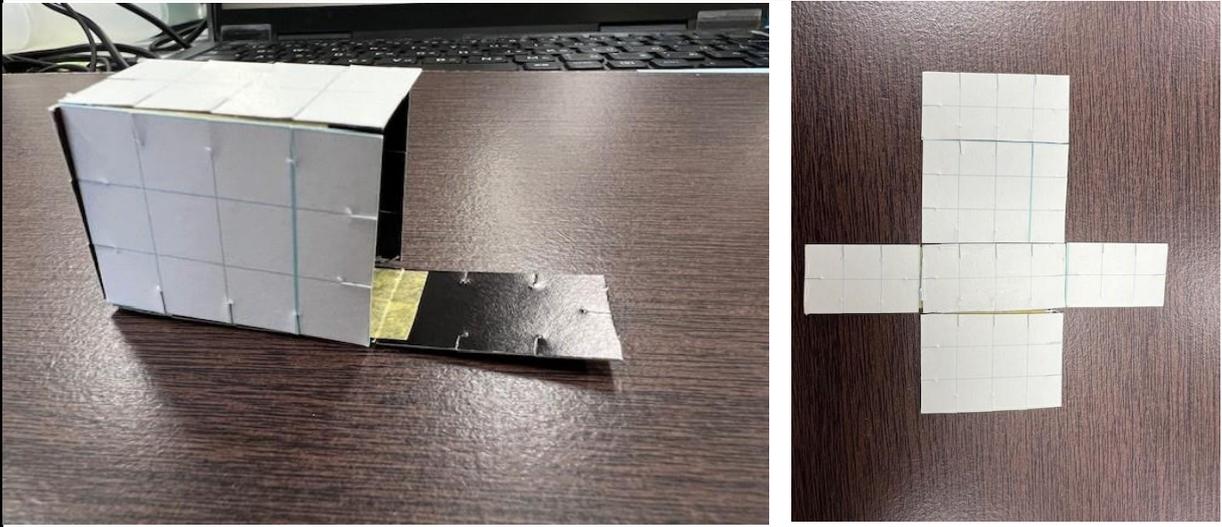


教材紹介カード		教科等	算数
教材名	目盛りが触って分かる立体図形	部 門	視覚障害教育部門
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生算数「角柱と円柱の体積の求め方を考えよう」の単元で、立体図形の構成を理解するために、1cm単位の目盛りがついた工作用紙で実物模型を作成し、思考の過程を整理する。</li> </ul>		
写 真			
指導内容 ・ 指導方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たて2cm、横4cm、高さ3cmの四角柱の体積を求める方法を考える。</li> <li>・底面積を求めてから高さをかける方法について理解できるようにする。</li> <li>・工作用紙で作った模型の四角柱を提示するときに、マス目が触って数えられるようにした。</li> </ul>		
特徴 ・ 留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・底面にしきつめられる1cm<sup>3</sup>の立方体の個数を表す式が、底面積を表す式と同じであることを理解させるために、模型に触って分かる目盛りを付けた。</li> </ul>		
材料・製作 上 のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目盛りは、はさみで切り込みを入れるだけという簡易な方法にすることで、様々な角柱の模型を製作することができた。</li> <li>・実際に点字使用の児童に触って確認してもらおうと、数えやすいようだった。</li> </ul>		